

VOL.27

## 多文化・国際協力について調べよう！

～国際理解を深めよう～

2014.8 作成

### ○多文化社会とは…？

多くの文化が共存しあってできた社会。いろいろな人種や文化によって国は成長し、繁栄するとして、少数民族や少数者の文化を積極的に認める多文化主義の立場をとる。少数派を多数派の文化にとりこむ同化主義に反対する社会のあり方といえる。

(ポプラ社『総合百科事典ポプラディア 6 新訂版』より)

### ○国際協力とは…？

政治・経済・文化・交通・通信・保健などさまざまな面で諸国が協力しあうこと。

(講談社『日本語大辞典 講談社カラー版 第2版』より)

### ○概要を調べる \* 網掛けは児童コーナーの資料

#### ・29『世界地図から学ぼう国際理解 文化』 古内洋平／ほるぷ出版 [2007]

→ページ数が少なく、手に取りやすい。世界の国々の各種データが見開きで掲載してあり、地図で見ることでその周辺とのつながり、共通点を発見できる。

#### ・29/R『写真で見る世界の人びと』 ディーナ・フリーマン／ポプラ社 [2005] 【館内】

→世界のあらゆる地域に住む人々の暮らしを国や文化、習慣の違いで細かく分けて紹介している。写真もたくさん使われていて人びとの生活、歴史、宗教、言語などを知ることができる。

#### ・Y200『世界がもし100人の村だったら』 池田香代子／マガジンハウス [2000]

→世界の諸問題や各種統計について、世界を100人の村に凝縮して表現している。続編となるシリーズ2巻目では、1000人に規模を広げ、上記で紹介できなかった内容も紹介している。

#### ・302『ニュースがわかる世界各国ハンドブック』 山川出版社 [2013]

→194の独立国と46の非独立地域およびヨーロッパ連合241を網羅し、それぞれの国や地域についての基礎データや歴史が書かれている。

#### ・S028『多文化に出会うブックガイド』 読書公房 [2000]

→多文化の理解を深める児童文学、ノンフィクション、学習図鑑などを紹介。また、図書館や保育園での国際理解に対する取り組みも紹介されている。資料探しのきっかけに役立つ。

#### ・R375『現代国際理解教育事典』 日本国際理解教育学会／明石書店 [2012] 【館内】

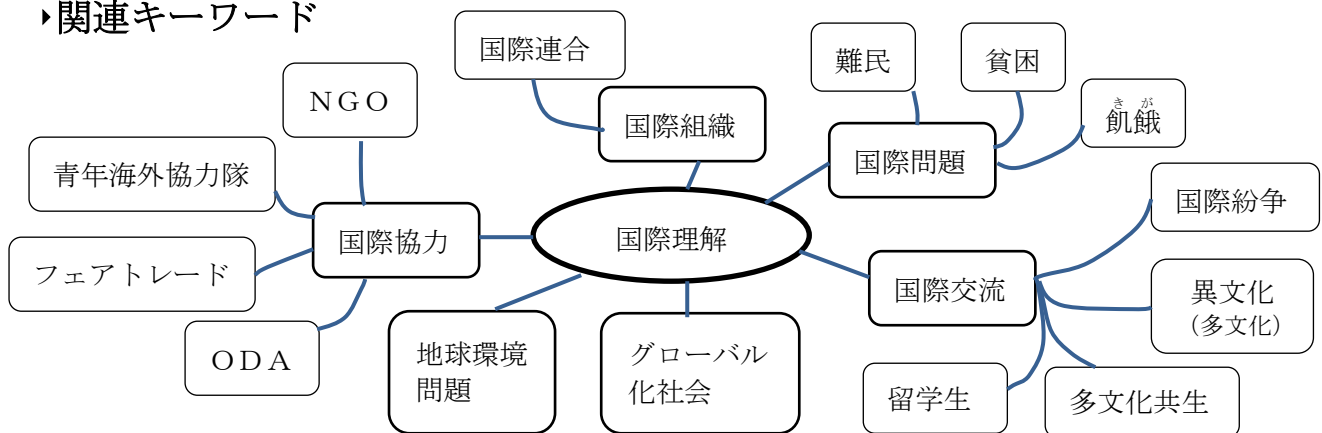
→内容は専門的だが、テーマを絞るには使える1冊。国際協力を積極的に行うNGO団体の紹介もある。

#### ・Y230 or 25-3『ポプラディア情報館 国際組織』 ポプラ社 [2006]

→国際連合のほか、地球環境問題等の解決に取り組む国際機関を紹介。NGOや主要な国際会議など国を越えて活動する組織もその成り立ちから活動内容まで詳しく紹介している。

## ○詳しく調べる

### ▶関連キーワード



### ▶日本十進分類法（一般書）で探す

- 【 3 6 1 . 4 社会心理学 】 【 3 6 1 . 5 文化、文化社会学 】  
【 3 3 4 . 4 移民 】 【 3 2 9 . 3 国際的協力 】 【 3 3 3 . 8 経済協力 】  
【 3 1 9 外交、国際問題 】 【 3 0 2 政治・経済・社会・文化事情 】 など

### ▶児童・YAコーナーで探す

- 【 Y 2 0 0 総記 】 【 Y 2 3 0 社会科学一般、産業一般 】  
【 Y 2 3 1 政治、外交、法律 】 【 2 9 地理 】 【 2 5 - 2 平和・人権 】

### ▶地域資料で探す

- 【 G - 1 - 1 0 地方自治一般 】

### ▶例えばこんな資料

#### 世界で起きている問題について学ぶ

##### ・Y230『子どもと健康の世界地図』 丸善 【2008】

→貧困や公衆衛生の悪さ、大気汚染といった環境問題など、世界で起きている諸問題を地図と写真で紹介。巻末には各国のデータ表もあり。

##### ・25-2『21世紀の紛争シリーズ』（全5巻） 岩崎書店

→世界でどのような戦争や紛争が起きているのか、原因となっている背景からその地域に暮らす子どもたちの思いなど掲載。地域ごとに本が分かれており、文章も読みやすく分かりやすい。

#### 文化の違いについて知る

##### ・361.4『異文化理解入門』 原沢伊都夫／研究社 【2013】

→異文化との接し方について、理解を深め、コミュニケーションなどで実生活に生かす上でのポイントを紹介している。各章ごとに内容理解を確認できる設問が用意されているほか、各章で関連する実体験エピソードも収録されており、読み進めやすい。

##### ・385.9『マナーとエチケットの文化史』 ベサニー・パトリック／原書房 【2013】

→世界の各地で交わされる独特のマナーとエチケットの誕生の起源、作法のねらい、その背景を端的に紹介している。アメリカとエジプトでの会議の様子の違い、ネガティブな言い方など様々な事例に触れ、異文化に親しみをもつことができるおすすめの一冊。

- **29『それ日本と逆？文化のちがい習慣のちがいシリーズ』(全6巻) 学研教育出版**  
→食事などの生活習慣や行動における印象の受け方など、文化の違いをイラスト形式で紹介している。1つのテーマについて、まず違いを紹介し、その違いが生じる背景を簡潔にまとめている。例えば、子どもの歯が抜けた時、その歯はどうする！？といった違いも載っている。
- **334.4『いちょう団地発！外国人の子どもたちの挑戦』 清水陸美／岩波書店 [2009]**  
→神奈川県にあるいちょう団地では、外国人の入居が進み、10%を超える。外国人の子どもたちが日本で生活することの苦労についても書かれており、日本での外国人支援のあり方を考えることができる。
- **G-1-10『立川市第2次多文化共生推進プラン』 立川市産業文化部協働推進課 [2010]**
- **R G-1-10『立川市多文化共生推進委員会報告書』 立川市多文化共生推進委員会 [2014]【館内】**  
→「お互いの国籍や民族、文化の違いを尊重し、共に暮らす多文化共生のまち」を目標に、実際に立川市で行われている最新の取り組みを知ることができる。  
市での現状から立川市が目標実現のために、より重点的に行うべき内容を計画し、実際に行ったことを報告書にし、今後の課題をまとめている。身近な取り組みを知るのに役立つ1冊。

#### 国際協力について学ぶ

- **R333.8『政府開発援助（ODA）白書 2013年版 日本の国際協力』**  
外務省／文化工房 [2014] 【館内】  
→開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つために行う資金・技術提供による公的資金を用いた協力を ODA という。その日本の ODA の実績をまとめた1冊。少し内容表現が難しい部分もあるが、各種図表や国ごとのプロジェクトも載っていて参考になる。
- **Y231『岩波ジュニア新書 国際協力の現場から - 開発にたずさわる若き専門家たち -』**  
山本一巳 山形辰史／岩波書店 [2007]  
→世界の至るところで起きている問題への対応に第一線で取り組む専門家の現状報告が書かれている。教育、紛争など様々な分野について、そのやりがいや今後の課題を知ることができる。テーマごとにコンパクトに読みやすくまとめられており、單元ごとに区切って読みやすい。
- **Y231『「世界」を知れば、「自分」が見える』 「高校の国際理解」取材班／数研出版 [2002]**  
→内容が少し古い点に注意しなければならないが、アルミ缶集めや古着回収など身近なことから始められる国際協力の方法について紹介している。いざ行動に移したいときの活動団体のインターネットサイトも活動内容ごとに紹介していて、参考になる。
- **25-2『日本の国際協力がわかる事典』 牧田東一／PHP 研究所 [2012]**  
→災害における支援や環境の保護など、日本が世界の各地域に対して行っている国際協力の活動を、写真を交えて紹介している。国際協力の活動に携わる人たちのメッセージも数多く紹介されている。
- **25-2『100円からできる国際協力シリーズ』(全6巻) 汐文社**  
→世界の各地で起きているさまざまな問題に苦しむ人たちがたくさんいる中、私たちにできることは何か。実際の支援の方法ではなく、どのくらいの金額でどれだけの支援ができるかをコンパクトに紹介。「平和を守る」「命とくらしを守る」など全6巻。
- **329.3『いっしょにやろうよ 最新国際ボランティア NGO ガイド』 三省堂 [2010]**  
→学校でも始めることができる国際ボランティア活動の方法や主な国際協力 NGO のリストを紹介。

## ○図書以外の資料

### ◎雑誌・新聞など

- ・「未来を照らす力」(JICA's World 2013年7月号)

→国際協力として、開発途上国に電力供給の技術を提供する記事が特集されている。

この特集に限らず、国際協力に関するトピックやおすすめの本が毎号で紹介されている。

### ◎インターネット情報

- ・外務省 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj>) [確認日:2014.07.09]

→世界の国々の情勢について、国ごとに知ることができる。

- ・独立行政法人国際協力機構 (JICA) (<http://www.jica.go.jp/index.html>) [確認日:2014.07.09]

→国際協力に関連するニュースや各種プロジェクトが掲載。

- ・一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) (<http://www.clair.or.jp>) [確認日:2014.07.10]

→国際交流や国際協力、多文化共生等についての自治体の取り組みが掲載。

## ○プラス・ワン!

### 文化の違いや国際協力の体験記を読む

- ・188.8『裸の坊様 - 異文化に切磋琢磨される禅プラクティス -』 ネルケ無方/サンガ [2014]

→著者は16歳にして禅と出会い、日本で禅僧となったドイツ人。異文化に触れる著者の禅的生き方が赤裸々に描かれている。

- ・291.33『群馬県ブラジル町に住んでみた』 中川学/KADOKAWA [2013]

→舞台は住民の約1割がブラジル・ペルー出身の外国人である群馬県邑楽郡大泉町。外国人の友達をつくるため、著者はその大泉町に引越し、南米文化を体験した。その体験記がコミックエッセイでまとめられており、読みやすい。

- ・Y230『岩波ジュニア新書 なんにもないけどやってみた』 栗山さやか/岩波書店 [2011]

→自分のことばかり考えて何気なくショップ店員として過ごしていた著者が、親友の死をきっかけに人生を見つめなおす。困っている人の役に立つために、ボランティアとしてアフリカへの旅立ちを決意。現地でHIVや貧困などに苦しむ多くの患者たちに寄り添った体験記。

- ・369.4『シューズとアフリカと500日』

高橋尚子+スマイル アフリカ プロジェクト/木楽舎 [2010]

→「子どもたちに笑顔のシューズを贈ろう。」シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんがフロントランナーとして、アフリカの子どもたちに靴を届けるプロジェクト。実際にアフリカを訪れ、体験した内容も紹介。履けなくなった靴は再利用できる!

- ・Y231『ちくまプリマー新書 地雷処理という仕事』 高山良二/筑摩書房 [2010]

→カンボジアには、内戦時に埋め込まれた不発弾が数多く残っている。安心して暮らすことができるよう、著者は陸上自衛隊にて学んだ除去技術を生かし、現地の復興を目指す。

※なお、国際問題の一つでもある「地球温暖化」や「人権」については、それぞれのパスファインダーを見て調べてみよう。